

# S D G s 達成に向けた 横浜市の取組事例

GREEN×EXP02027に向けて

横浜市役所 脱炭素・GREEN×EXP0推進局

脱炭素社会移行推進部長 岡崎 修司

令和8年3月10日

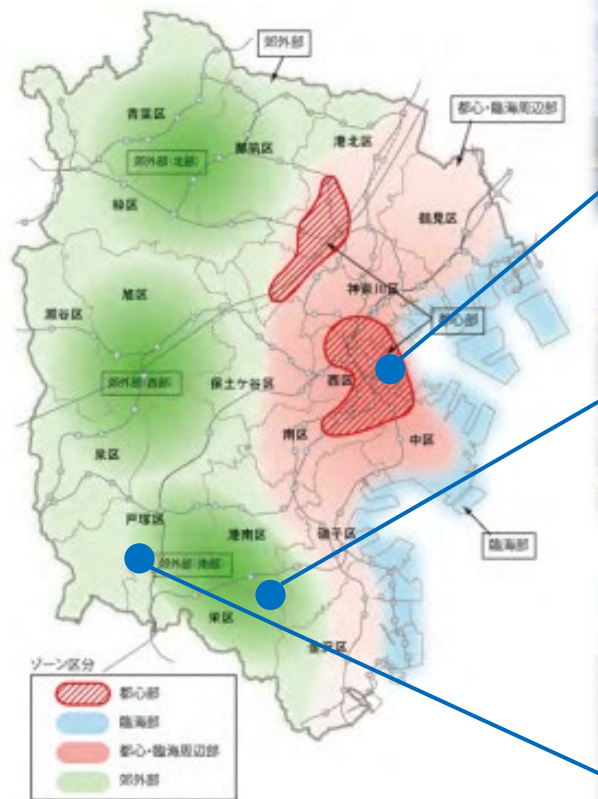
# 横浜市の概要

人口： 3,767,468 人

世帯数：1,838,222 世帯

面積： 438.01 km<sup>2</sup>

※ 人口・世帯数：令和8(2026)年2月1日現在



都心部（みなとみらい）



郊外部（上郷ネオポリス）



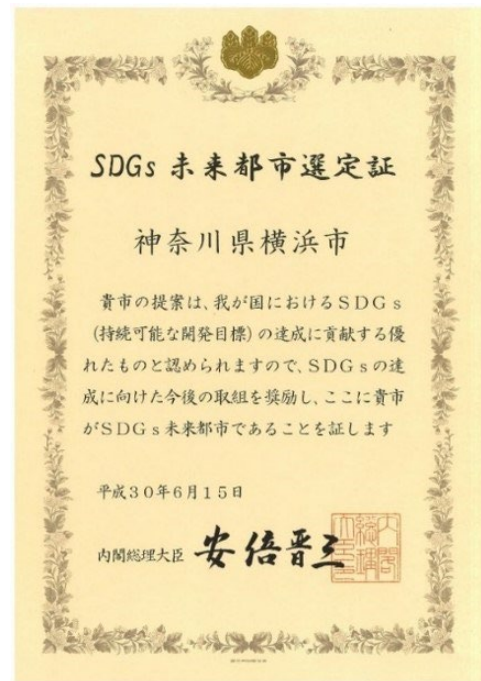
郊外部（舞岡ふるさと村）<sup>2</sup>

出典：横浜市都市計画マスタープラン（全体構想）

横浜市では、「横浜市中期計画2022-2025」において政策ごとにSDGsの17のゴールを紐づけ、SDGs達成に向けた取組を推進しています。



- 国は、SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する自治体を「SDGs未来都市」として選定
- 横浜市は、選定初年度の2018年に、SDGs未来都市に選定
- その中でも特に先導的な取組である「自治体SDGsモデル事業」として、ヨコハマSDGsデザインセンターの取組が選定



- ・ 環境・経済・社会的課題の統合的解決を図るべく官民連携で運営する組織
- ・ SDGsに積極的に取り組む事業者の持続的な経営・運営を後押し
- ・ 会員同士のマッチングからコンサルティングまで、多様なニーズに応じ、会員の活動を支援

## ヨコハマSDGsデザインセンターの概要

開設：2019年（平成31年）1月

運営主体：横浜市、共同事業者

所在地：現在、新拠点を検討中

会員数：約2,500者（市内外事業者、学生、市民等）



市内の小学校と事業者によるアップサイクル



体験型イベントでの普及啓発

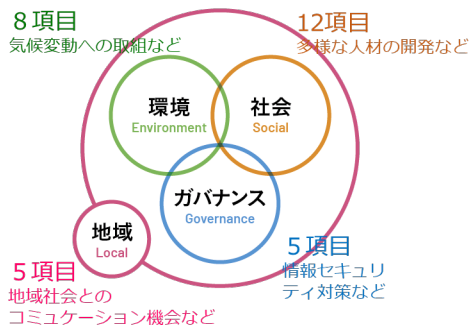


デザインセンター会員ミーティング

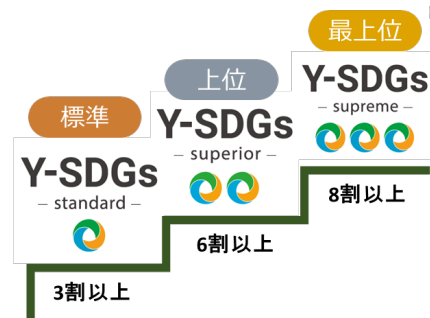


# 横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”

## SDGs達成に向けて取り組む企業・団体を認証する制度

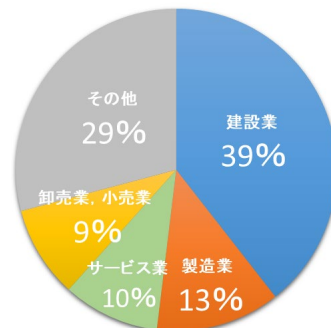


ESGL（環境・社会・ガバナンス・地域）  
の4分野における30項目で取組を評価



評価に基づき、市が3段階の区分で認証

- 制度創設：令和2年度
- 令和7年3月現在 **904者**が認証を取得
- 認証マークの活用、入札加点などのメリットあり



認証取得者の業種別割合

# 横浜市の S D G s 達成への取組

# 脱炭素先行地域「みなとみらい21地区」の取組

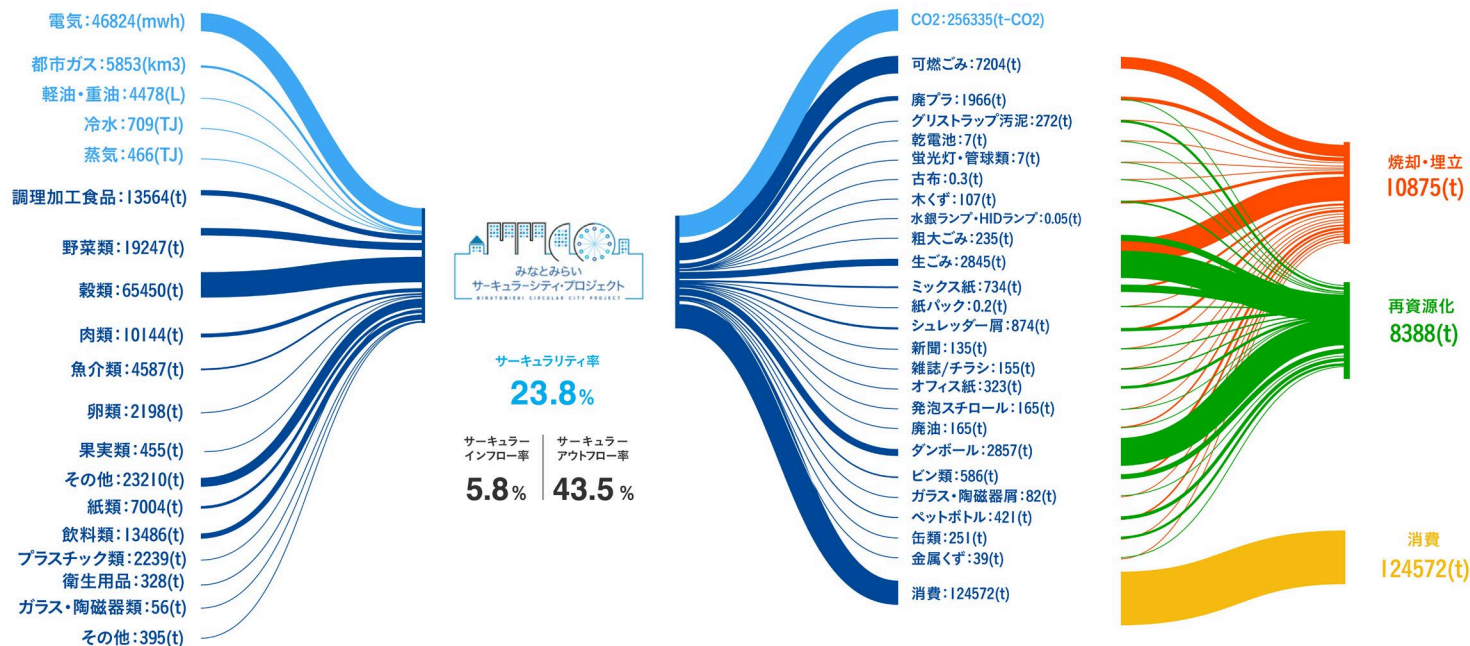
- 2030年度までに電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出の実質ゼロを実現する地域
- 徹底した省エネや再エネ電力の供給等による電力の脱炭素化、熱の脱炭素化、資源循環の推進等に取り組む



脱炭素先行地域みなとみらい21地区での取組



- みなとみらい地区で、地区内における資源の流れを可視化する取組を開始(日本初)
- サーキュラーエコノミーを評価する指標を確立し、新プロジェクト創出の土台を整備

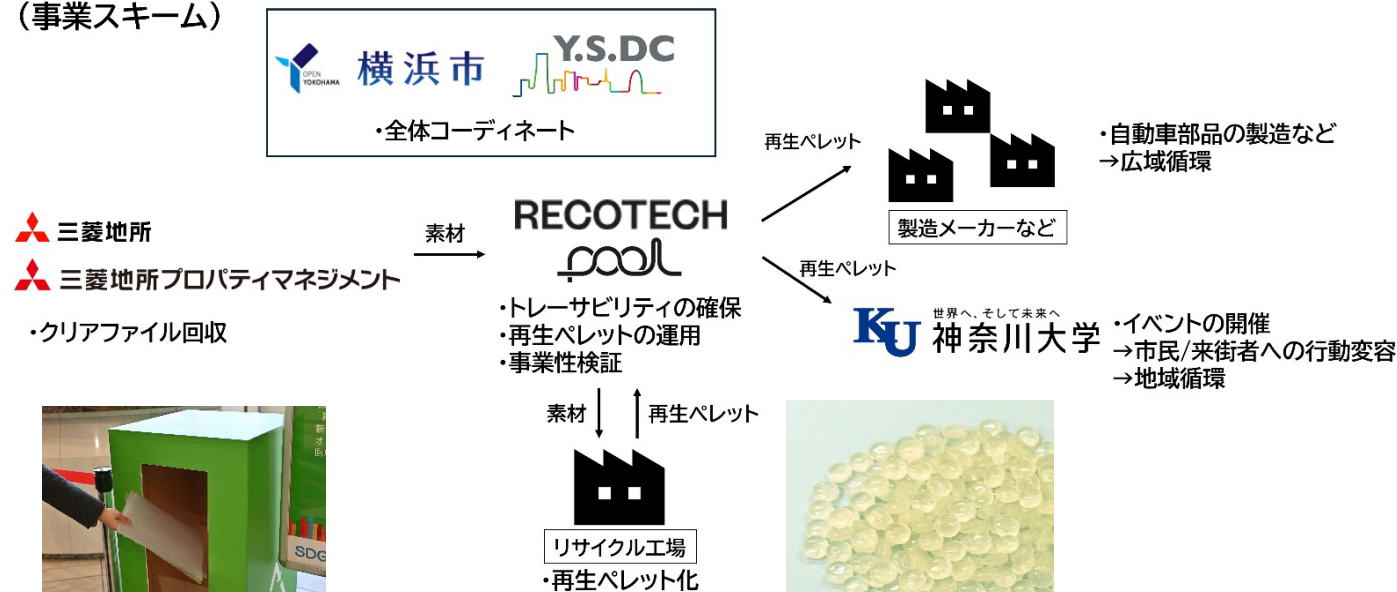


【イメージデータ】 みなとみらい地区の資源循環の可視化

# クリアファイルの資源循環モデルの実証

- 横浜市、ヨコハマSDGsデザインセンター、三菱地所株式会社/三菱地所プロパティマネジメント株式会社が連携し、使い終わり不要となったクリアファイルの回収とリサイクルによる新たな資源循環のモデル構築に向けた実証を開始

(事業スキーム)



再生ペレットを利用したモノづくりワークショップ

# 廃棄物の資源循環の推進（SDGsロッカー）

- 消費期限内でありながら廃棄されてしまうパン等を専用ロッカーで販売
- 廃棄物及びCO<sub>2</sub>排出量を削減するとともに、市民の意識醸成と行動変容につなげる
- 食品以外の取扱も開始

場所提供者

食品販売者

ロッカー  
設置者



SDGsロッカー



# SAF（持続可能な航空燃料）

- 日本航空(JAL)と連携し、市内の家庭で発生する廃食油をスーパーマーケットで回収し、SAFにリサイクルする仕組みを構築



専用ボトルを用いた  
回収ボックスへの注ぎ入れ



市内スーパーマーケットに  
回収ボックスを設置

- ・市内の小学生が夏休みの自由課題として、絵日記形式で環境問題等について考えていることを自由に表現する取組
- ・平成12年度からの累計応募数は27万点を超え、令和7年度は3,371点の応募
- ・米国サンディエゴ市、モンゴルウランバートル市でも継続的に実施



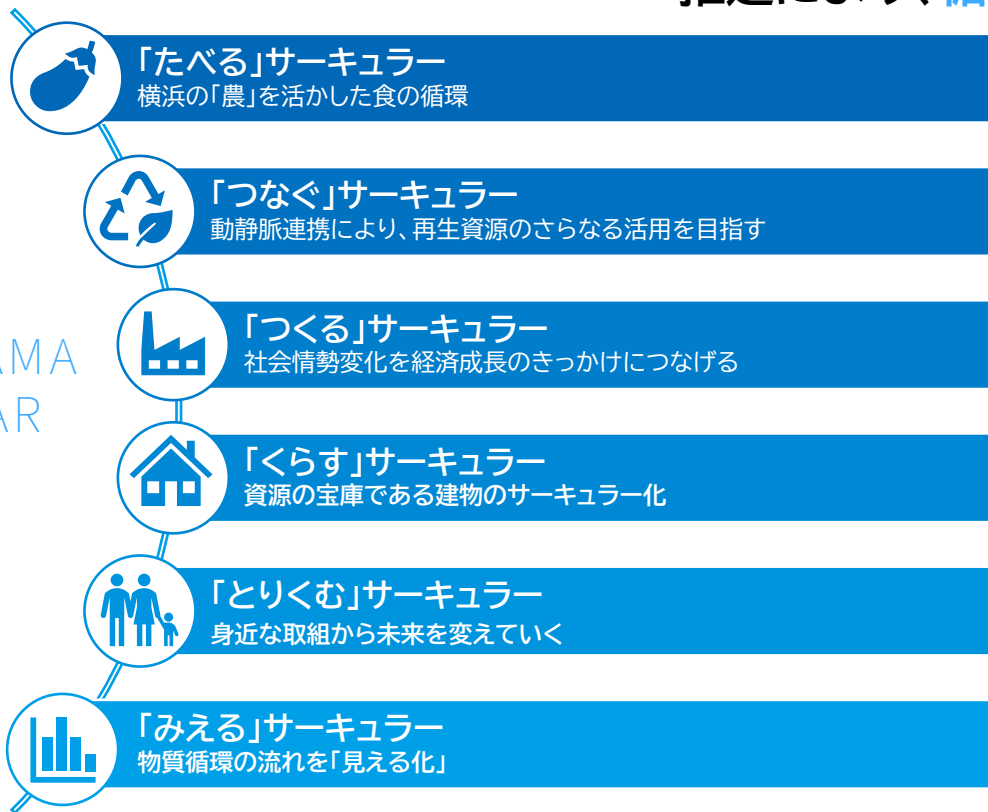
市庁舎での環境絵日記展示



表彰式

# アジアを代表する循環型都市へ

横浜の都市特性を生かした、6つの“YOKOHAMA CIRCULAR LINK”の  
推進により、循環型都市への移行を加速





開催場所 旧上瀬谷通信施設(横浜市瀬谷区・旭区)

開催期間 2027年3月19日～9月26日

100haの広大な会場

1,000万株の花・緑

GREEN×EXPO 2027